



### 第12回 国際家族看護学会参加の様子

第12回 国際家族看護学会に参加して

京都橋大学看護学部 穴吹浩子

去る2015年8月17日～22日までデンマークのオーデンセで開催された第12回国際家族看護学会に参加しました。オーデンセはアンデルセン誕生の地であり、アンデルセンが過ごした当時のままの街並みが保存された、とても美しい街でした。初めての国際学会への参加ということもあり、不安もありましたが、初秋を思わせるさわやかな気候、いつまでも暮れない夕暮れ、美しい街、温かい住民や現地スタッフに迎えられ、とてもリラックスし、楽しみながら参加することができました。

私は日々ご指導をいただいている先生方と共に災害時の家族看護に関してポスター発表しました。ポスター会場には飲み物や軽食が置かれてあり、国内学会ではあまり見られない環境に驚きました。しかし参加者が自由な雰囲気の中、活発に意見交換されており、場づくりの大切さを学びました。その他に国際や教育に関する口演、基調講演等に参加しました。口演では、複数国の研究者が自国の家族看護に関する研究の動向について文献レビューをした結果を発表されていました。国を超えたその研究により各国の特徴や共通する内容が示され、大変興味深く学ぶことができました。また、文献レビューの方法についても学ぶことができました。

世界中から看護職が集まり、それぞれの発表から誠実に日々、対象と向き合い看護したその成果を発表する場に参加でき、とても刺激を受けました。学会を終え、今後の看護実践や教育、研究に活かしていけたらと強く思っています。

### 第23回 日本家族看護学会学術集会のお知らせ

#### 家族を癒すケアの探求 ～エンド・オブ・ライフケアの実践～

会期：2016年8月27日（土）～28日（日）

会場：山形テルサ

会長：古瀬みどり 山形大学医学部看護学科



日本家族看護学会

【事務局】

〒929-1210 石川県かほく

市学園台1丁目1番地

石川県立看護大学内

日本家族看護学会事務局

TEL/FAX：076-281-8374

Mai:family\_chiba\_u\_2007@yahoo.co.jp

【編集後記】

今回はNEWS Letter12号として第12回国際家族看護学会の様子をお伝えさせていただきました。国内外の学会の様子を見聞する中で、家族看護の奥深さや幅広さを学ぶことができました。

私自身、病院で勤務していた時から看護の対象としての家族を考えない日はありませんでしたが、学会員となった今、どの看護の場にあっても家族への看護は展開され、そこでの経験を共有し、その奥深さや幅広さを学びあえる場が家族看護学会なのだ実感しています。家族看護が看護職者にとって、さらに身近な存在になるべく広報活動をしていけたらと思います。今後ともよろしく願いいたします。

(京都橋大学 穴吹浩子)